

「親の学習」プログラム

5-1

子どもでもない大人でもない～思春期の心～

大人への一歩。

「思春期」という言葉があります。中学生から高校生にかけてと言われていますが、成長の早い現代では小学校の高学年からその年代と言われていきます。男の子も女の子も身体の変化や心の面でのいろいろな変化が生じます。大人になったとまでは言えなくても子どもでもなく、大人でもない状況です。大人へ一歩踏み出した年代と言えるでしょう。皆さんは我が子の変化に戸惑いはありませんか？ここでは、思春期の心の特徴について考え、よりよい子どもとの関係づくりに励みましょう。

ワーク
1

次の事例を読み、話し合ってみましょう。

事例

保護者会でAさんの母親が「最近子どもが何も家で話してくれない。」といい、不安を訴えてきた。

また、B君の母親は「息子が長時間ゲームをしていたので注意したら、黙って二階に上がりドアをすごい音で閉めた。しばらく口をきかなかつた。数日後、雨の降る日、学校から電話で『傘を忘れたから迎えに来て欲しい』と連絡があったが、用事があったので行くことができなかった。息子は雨に濡れてびしょびしょになって帰宅した。その後から機嫌が悪く、迎えに来てくれなかったことをいつまでも怒っているようだ。」と言っていた。

① 事例を読んで何を感じましたか。

② 隣の人と二人で自分たちの中高生時代を振り返り、話し合ってみましょう。

※話題（トピックス）の例

- ・親や友人との関係はどうか。 ・事例と同じような経験はありましたか。
- ・どんな中高生でしたか。

話し合った内容をまとめて書いてみましょう。

③ 事例のAさんとB君は、どんな気持ちだったのでしょうか。子どもの立場で考えてみましょう。

**ワーク
2**

思春期を迎えた子ども、親からみた子どもの変化について、考えてみましょう。

① 子どもの変化で気づいたことを書いてみましょう。

	こんなところが変わったと感じた
親や家族との関係 (親子の会話などから 気づいたこと)	(例) ほとんど会話が続き、話しかけても「うん」としか言わなくなった。
友人との関係	(例) 小学校の頃よりも、交友関係が広がった。
気分や関心、生活に関して	(例) イライラしていることが多くなった 好きなゲームに没頭していることが多くなった。
その他 (自立したことなど)	(例) 自分のことは自分でやるようになった。

② 書き終わったら、グループで意見交換をしてみましょう。他の人の話を聞いて気づいたことを書いてみましょう。

ワーク
3

グループで話し合ってみましょう。

思春期を迎えた子どもに、どの様に接していけばよいと思いますか。

ワーク
4

こんなとき、あなたならどうしますか。考えてみましょう。

出来事1

中学2年生の息子は、最近家ではあまり話さず、学校から帰ってきても自分の部屋にこもりきりです。話しかけても口答えばかり。

先日、出かけようとしていたので、「どこに行くの」、「誰と遊ぶの」と尋ねると「うるせーな関係ねーだろ!」と急に怒鳴りました。

親としては息子の交友関係が心配なのですが…。どうしたら分かり合えるのでしょうか。

・この後、あなたならどうしますか？

出来事2

中学3年生の娘は化粧品に興味を持ち始めました。マニキュアやマスカラなどを小遣いで買っては、試しています。友達と遊ぶときも、化粧をし、派手な格好です。部屋にはファッション雑誌が散らばっています。

もっと、勉強や部活に熱中してほしいとも思うのですが…。「ほおっておいていいのかしら」と心配になります。

・この後、あなたならどうしますか？

ふりかえり

何を学びましたか？

何を感じましたか？

今後の生活にどのように生かしますか？

